

美幌版総合戦略

<Ⅰ 基本的な考え方>

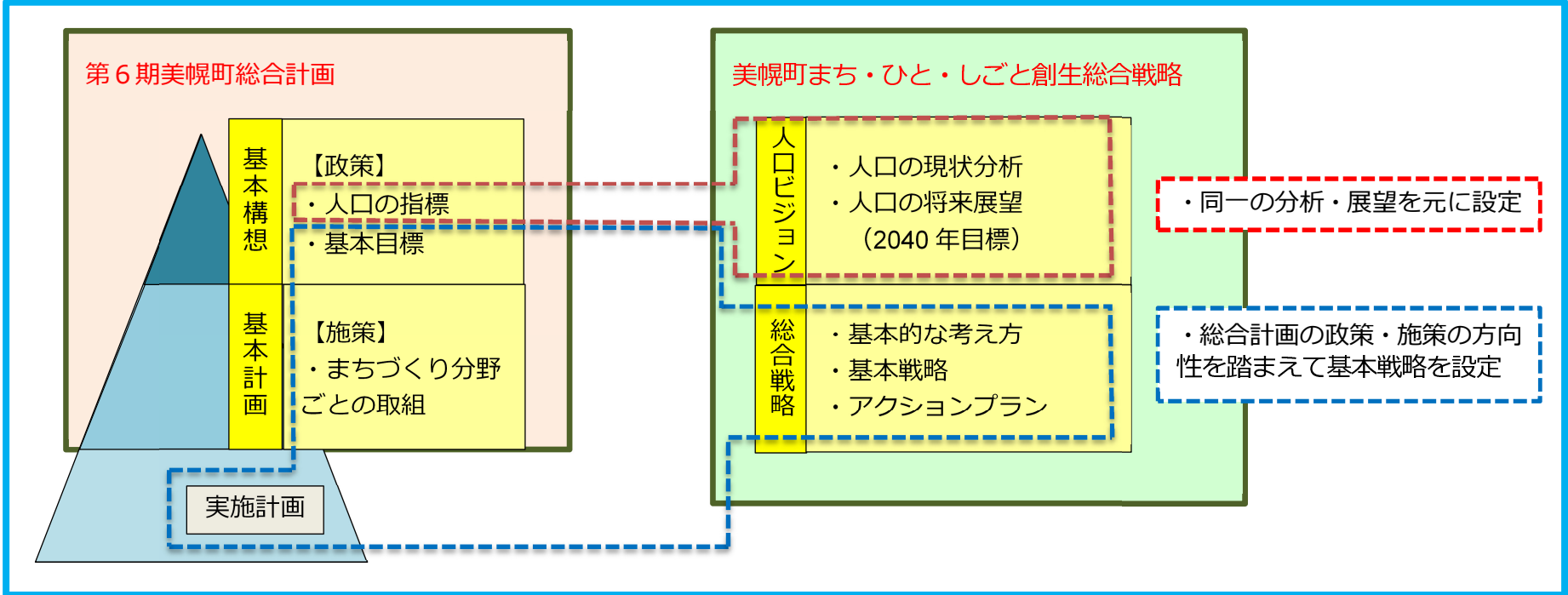
■「総合戦略策定の趣旨」

総合戦略は、国の「長期ビジョン」・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び北海道の「北海道人口ビジョン」・「北海道創生総合戦略」の内容を勘案するとともに、美幌町の住み良さや魅力を次世代に向けて高めていくまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢においても高い持続性を確保していくため、中期的な施策群の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

■「総合戦略の期間」

平成 27 年度～平成 31 年度（5 力年間）

■「総合戦略の位置づけ」



■「効果的な推進管理」

- 「美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会」をはじめとする推進体制の構築
- 数値目標と重点業績評価指標（K P I）による P D C A サイクルの展開

<Ⅱ 基本戦略>

1 地域での基幹産業を守り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場をつくる

【数値目標】

- 農畜産物販売額：9,900 百万円（H31 年度）
- 認証材の出荷額：26 百万円（H31 年度）
- 従業員数の増加：平成 26 年比 3 % 増加（H31 年度）

【基本的方向】

- ・基幹産業である農林業を活かし、更なる産業への拡大による経済波及効果や雇用の創出につながる取組を推進
- ・多様な能力を持った人材への支援
- ・美幌町の優位性を活かした観光の推進

【主な施策】

- ・＜農業＞ 担い手の育成・確保、高付加価値化への支援、観光業との連携 など
- ・＜林業＞ 森林認証材の活用推進、木育の推進 など
- ・空き店舗を活用した起業家への支援、新たな観光名所の検討、特産品開発への支援 など

2 「びほろ」らしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す

【数値目標】

- 20 代～40 代の転入者数：年平均 20 人転入超過（H27～31 年度平均）
（20 代～40 代の転入者数年平均 562 人：過去 3 年分のビッグデータより）
- 20 代～40 代の転出者数：年平均 20 人転出抑制（H27～31 年度平均）
（20 代～40 代の転出者数年平均 632 人：過去 3 年分のビッグデータより）

【基本的方向】

- ・他地域からの人口の流入促進や地域の活性化を図るため、美幌町の優秀な人材を呼び戻す体制を整える
- ・美幌町での暮らしやすさ・魅力を実感してもらうための住環境の支援
- ・政府関係機関の誘致

【主な施策】

- ・U ターンしやすい支援体制の構築、空き家を活用した二地域居住・お試し居住の推進、美幌町ベッドタウン構想、政府関係機関の誘致 など

3 このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたいという希望をかなえる

【数値目標】

- 合計特殊出生率：1.70（H31年度）
（H20～24 平均 1.64）
- 婚姻届出数：100 件（H31 年）
（H22～26 年平均 85 件）

【基本的方向】

- ・結婚を望む男女のサポート
- ・「妊娠・出産・子育て」への切れ目のないサポート体制の整備
- ・仕事と家庭の両立を支える環境づくりの推進

【主な施策】

- ・婚活プロジェクトの実施、安心な出産環境への支援、子育て応援隊・サポート事業、子育て世代の負担軽減 など

4 住み続けたいと思える生活環境を整える

【数値目標】

- 「美幌町に住み続けたい」と思う人の割合を増加させる：85%（H31 年度）
（H26 72.4%、 H17 84.6%）
- 若年世代（10～30 代）の「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と思う人の割合を増加させる：80%（H31 年度）
（H26 10～20 代 75.0%、30 代 75.4%）

【基本的方向】

- ・魅力的な中心街の創出
- ・若者との協働や地域間と連携したまちづくりの推進
- ・美幌町の特性を活かした教育環境整備の推進

【主な施策】

- ・商店街の持続的な活性化への支援、若者から高齢者まで集まる施設整備、交通の利便性の向上、美幌町独自の教育、地元学生のまちづくり参画 など